

IPMを活用したイチゴ防除例

月	旬	作業	殺虫剤	IPM発展版 (年内:アブラムシ防除、 春:アザミウマ防除)	備考
9	上 中 下	定植	モスピラン粒剤 コテツフロアブル、気門封鎖剤	/ 日頃 天敵納品日から逆算して 21日前に薬剤散布	・健全な根圏環境作りのために 定植時トリコデソイル灌注 (250g/10a) ・アーデント等の天敵への影響が長い殺虫 剤は使用しないこと！(2-3ヵ月影響有り)
10	上 中 下	開花 下葉 整理	(天敵導入3週間前) アファーム乳剤+ボタニガードES 気門封鎖剤 (天敵導入2週間前) ボタニガードES or 気門封鎖剤 チェス顆粒水和剤 フェニックス顆粒水和剤、気門封鎖剤 (天敵導入1週間前) コロマイト水和剤+ボタニガードES	/ 日頃 天敵納品日の14日前に 薬剤散布 / 日頃 天敵納品日の7日前に 薬剤散布	・毎年アザミウマが多発生する園場に ホリバーブルー設置 (100-200枚/10a) ・天敵導入の約1ヶ月前から必ず毎週ハダ ニ防除を実施してください ・天敵導入のタイミングはイチゴの開花時 期が目安です。ハダニを徹底防除して、な るべく早い時期に天敵を導入しましょう ・天敵導入前はボタニガードES または気門封鎖剤を活用
11	上 中 下	天敵 放飼	(天敵導入2~3日前) マイトコーネフロアブル+ボタニガードES ※10月下旬~11月下旬 スパスパトリオ (スパイカルEX 250ml×1本 +スパイデックス 100ml×3本) ウララDF マッチ乳剤	/ 日頃 天敵納品日の2-3日前に 薬剤散布 天敵を注文したら、 納品日をご記入下さい / 到着	・ハダニが確認できない園場でも潜在的に 発生しているため、少なくともスパイカル EX 1本+スパイデックス1本を放飼 ※植替え株はハダニの発生源になる場合 が多いため、薬剤防除を行ってから植えつ けましょう ・越冬期の養分吸収促進に トリコデソイル灌注(250g/10a)
12	上 中 下		※ハダニが発生したら 選択性殺ダニ剤散布後に スパイデックス×3本	アブラムシが発生したら ウララDF散布後に アフィパール放飼 (100ml×2本) / 日頃 天敵納品日直前~7日前に 薬剤散布	・年内にアザミウマ防除を行うと、翌年の発 生を遅らすことができます ・年内にハダニが発生したら、レスキュー 防除後にスパイデックスを追加放飼。クリ スマス需要の繁忙期を迎える前に済ませ ておきましょう
1	上 中 下	下葉 整理	(天敵導入直前~1週間前) カネマイトフロアブル(薬害注意) or ダニコングフロアブル ※1月中旬~2月中旬 スパイデックス 100ml×3本	/ 到着 天敵を注文したら、 納品日をご記入下さい	・1~2月にダニ剤を散布してからスパイ デックスを必ず導入して下さい 暖候期を迎える前のハダニ防除+天敵導 入によって、ハダニの急増を抑えることが できます
2	上 中 下		スターマイトフロアブル ファインセーブフロアブル		・暖候期の根が活発に動く時期に トリコデソイル灌注(250g/10a) ・2-3月は本来ハダニが急増する時期で すが、天敵が十分量定着している園場では ハダニの急増を防ぐことができます。ハダ ニ多発生場所ある場合はレスキュー防除 を継続しましょう ・アザミウマ防除は2月から開始すると効 果的です。感受性低下が著しい地域では ボタニガードESを混用しましょう。
3	上 中 下		マイトコーネフロアブル スピノエース顆粒水和剤	アザミウマ剤+ ボタニガードES混用	・春は天敵の効果が目に見えて実感でき ます。天敵導入ハウスと未導入ハウスの イチゴの様子を是非比べてみてください。 天敵が働いているハウスのイチゴは元気 一杯です！
4	上 中 下		ダニサラバフロアブル モスピラン顆粒水溶剤	アザミウマ剤+ ボタニガードES混用	
5	上 中 下		アファーム乳剤 ディアナSC モベントフロアブル アーデント水和剤	アザミウマ剤+ ボタニガードES混用	・アザミウマが急増する時期です。天敵へ の影響が大きい農薬も使用してアザミウマ 防除を優先してください。

※白抜き字は必須防除です。天敵を導入する方は必ず行ってください

※農薬を使用する際は、必ず使用する前にはラベルを確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください